

令和7年度第2回小田原市学校給食費検討委員会 議事録

1 日 時 令和7年11月20日（木） 午後5時から午後5時45分まで

2 場 所 小田原市役所 3階 議会全員協議会室

3 出席委員 中村 真樹子、生田目 匠、高橋 恵子、鈎持 ゆか、藤原 克彦、
山崎 千沙都、石井 恵子

4 事務局 教育部長、教育部副部長、保健給食課長、副課長、保健給食課職員5人

5 傍聴者 0名

(次第)

1 開会

2 議事

(1) 学校給食費の在り方について

令和8年度以降の学校給食材料費の適正な1食単価について

(2) 答申について

(3) その他

3 閉会

6 議事概要

1 開会

【鈎持委員長】

定刻になりましたので、ただ今から、「令和7年度第2回小田原市学校給食費検討委員会」を始めさせていただきます。

皆様、本日はご多用の中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

本日は第2回目ですが、今年度最後の会議となりますので、闇達なご意見等をよろしくお願ひします。なお、本委員会の会議につきましては、委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、委員会規則第4条第2項の定足数に達しております。

また、本日の傍聴者はございません。

ここで、本日の資料の方を確認させていただきます。本日の配布資料は、事前に送付いたしましたとおり資料1及び資料2となっております。不足等はございますでしょうか。

2 議事 (1) 学校給食費の在り方について

【鈎持委員長】

それでは、これから議題に入りたいと思います。

第1回の本委員会において論点について給食費検討委員会としてどのようにするのか、審議をしました。本日に至るまでの委員さんからの意見については事務局から説明をよろしくお願いいいたします。

【保健給食課長】

それでは、私からご説明いたします。

お手元の資料2の給食費検討委員会委員からの意見整理を御覧ください。第1回の会議でいただきました委員の皆様からの意見とそれに対する市の考え方につきまして、全8件を一覧にしたものでございます。既にいただいたご意見をまとめさせていただいたということで、改めての説明は省略をさせていただきたいと思います。説明は以上となります。

【鈎持委員長】

ありがとうございました。いただいた意見に対して市の考え方が示されておりますけれども、この点も踏まえて、何か御発言等あればお願いいいたします。

(なし)

特にご意見等はありませんでしたけれども、前回の会議では、最近の物価上昇がこれまでにない大きなものとなっており、現在においても各栄養士の献立作成の工夫により価格が維持されているなか、今後、更なる工夫をお願いすることになる状況を懸念するようなご意見もいただいているところです。

物価が安定しない状況下においては、適宜、子供たちにとって質・量ともに必要十分な給食が提供可能かどうか検討していくとともに、急激な物価情勢の変化が生じた場合には、早急に1食単価の見直しを検討するなど、柔軟な対応をしていくことが必要かと思いますが皆様いかがでしょうか。

(なし)

それでは、論点「令和8年度以降の学校給食材料費の適正な1食単価」についての考え方や方向性については、審議会としては適切であろうと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

では第一回目の検討の結果で良いというところで、どうもありがとうございました。

2 議事 (2) 答申について

【鈎持委員長】

次に、議題(2)答申についてです。事務局、説明をよろしくお願いいいたします。

【保健給食課長】

それでは、議題（1）でご確認いただきました内容をもとに、答申案をただいま配布させていただいております。

（各委員の机上に答申案（資料3）を配布）

お手元に届きましたでしょうか。それでは私の方からお手元に配布させていただいた資料をもとにご説明をさせていただきます。読み上げるような形でやらせていただきたいと思います。

（資料3を読み上げ）

以上でございます。

【鈎持委員長】

説明が終わりました。ご質疑等ございますでしょうか。

【山崎委員】

久野小の山崎です。今の話の付帯意見の中に「遅滞なく柔軟に対応し」ということが書かれているんですけども、年度の途中で急激な物価上昇ですかね、野菜の不作によって価格が急激に上がってしまったりですかね、そういうことが考えられるんですけども、年度の途中でも一食単価が変化するということがあるのか、それとも市の補正予算とかでプラスになるようなことがあるのか、ということがわかりましたら教えていただきたいです。

【保健給食課長】

今回、給食費検討委員会の中でこういった意見でいただくということですね、仮に急激に上がってしまったような場合は、今お話しがありました補正予算を組むかどうかも含めて、いただいた意見をどの程度反映できるかということで検討していくということになります。直ちに上がったからすぐにお金が確保できるとか、食材の一食単価を上げられるかどうかというと、今現状でははつきりしたお答えはできないんですけども、検討はさせていただくということになります。以上でございます。

【山崎委員】

ありがとうございます。

【鈎持委員長】

他にご質問等はありますか。また、前段の議論を踏まえて修正等が必要であればここでお伺いしたいと思います。少し時間の方をお取りしますので、ご確認の方をお願いいたします。

（なし）

ありがとうございます。特に質疑、ご意見等ないということですので、本件については事務局からの提案のとおりとし、最終の答申については委員長、副委員長の方にご一任いただくという

ことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。ではそのようにさせていただきたいと思います。それでは今回の答申につきましては、このあと、直接手交させていただきます。答申の手渡しなんですが、委員全員でお渡しさせていただければと思っていますけれどもよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは、議題(2)については以上といたします。

2 議事 (3) その他

【鈎持委員長】

次に、(3)のその他です。せっかくの機会ですので、委員の皆様から一言ずつでも、給食のことでもいいですので、感想等を順番にお話しをいただければと思います。

【藤原委員】

酒匂中学校の藤原と申します。よろしくお願ひいたします。給食のこと、ということなんですが、今物価高というところで、前回もお話には出ていたのですけれども、その中でも前回私もお話させていただいたんですけども、新しいセンターになってから、おそらく工程がどこかで変わったと思うんですけども、ボリュームもすごい上がりましたし、味の方も非常においしくなったというところで、今後また物価高といったところで、メニューによる工夫にといったところでも、ぜひとも今の美味しい給食、温かい給食を維持してもらえたら、子供たちの反応が全然違いますし、本当に午後生き生きと活動している子供たちを見ますと、本当に大切な一日の中の一食なんだなというのを自覚しますので、いろいろ大変なこともあるかと思いますけれども、ぜひともよろしくお願ひいたします。以上です。

【中村副委員長】

小田原短期大学の中村です。お世話になっております。今回、物価高の話が出ましたけれども、限られた予算でもきちんとしたものを出さなくては、という視点で栄養士さんのご苦労も伺えましたし、学校の方ではそれに対応して、子供たちが喜んで食べてくださっている話が聞けて良かったと思っています。そして改めて、この答申の理由のところにもありますように、生きた教材とは何なのかというのを私自身も考え直させていただいて、栄養価がきちんと整っているということはもちろん、きちんとした食事の形はこれだよねということで子供たちが食べているんだと思いますけれども、他にもいろいろな食に触れるという言葉を入れていただきましたけれども、日常の食に繋がっていくような食事であるといいなという風に思いました、それは子供たちがいつまでも給食頼りというわけにはいかないので、その次に自分で食べるときにどうするのというときに、やはり振り返ると給食というのは一つの見本だと思いますので、そういう形になるようという意味でも、今のが維持され、かつ三品献立のようなときには、お楽しみのデザートもあ

るとか、普段の食事と似た形があるというような、本当にいろいろな食に触れられると、そして新規のものであるとか、またはときには海外の料理を紹介していただくとか、さまざまな視点で教材なのだな、ということを考えさせていただきましたので、引き続き学校の皆さん、市の皆さんに感謝しつつ、継続をお願いしたいと思いました。ありがとうございました。

【生田目委員】

小田原市P T A連絡協議会の生田目です。今回、物価高で致し方ないというのをわかりつつも、保護者としての意見として出させていただいたところがありました。そういうところもご考慮を今後していただければと思います。ただ、子供たちは給食を楽しみにしていて、家だと苦手なものは、ポイポイと別皿によっこしてしまいますが、給食ではしっかりと完食している、苦手なものが出ても完食しているというところもありますので、今後も今の給食の味を維持していただきながら、かつ意見を出させていただいた価格、給食費というところの負担が家庭に出ないようのご配慮いただければと思っております。1点お願いしたいなと思うんですけども、答申案の付帯意見にも書かれていたり、自分が一回目で出させていただいた中の小田原市としての考え方のところの文章の一言に書いてあるんですが、「参考」ですとか「検討」という言葉があるんですけども、検討しないままというよりか、しっかりと1回でも検討はしていただいて、できれば各家庭に伝わるように、検討した結果ですとか、そういうところとかを通知か何かとかでもいただけるとありがたいなと思っております。以上です。

【山崎委員】

久野小の山崎です。保護者の方の意見でも給食費の値上がりがということがありまして、栄養士としては、限られた予算の中でできるだけ質を落とさずに栄養価を満たして、子供たちが満足するような給食を今後とも提供していきたいなと思います。保護者の方の負担が増えたということもあるので、そこはきっちり守ってこれからも献立の工夫で努力していきたいなと思うところです。あと私からは、前回の第1回のときに少しお話をさせていただいたんですけども、ここ数年、地場産の魚の活用を市の方で、魚の提供をしていただいているところで、先日小田原のかますを久野小でも提供をしました。そこでは、かますが小田原産ということだけではなくて、かますのフライに対するソースをいわゆる中濃ソースとかそういうものではなくて、小田原の梅干しを使ったソースを使って提供させていただきました。かますも小田原、梅干しも小田原という小田原の海と畑のコラボレーションみたいなところで、子供たちにお昼アピールをしたところ、すごい子供たちの食いつきがよくて、1年生から6年生まで本当によく食べていて、かますのひらきだったんですけども、大人が見てもおおって思うようなサイズ感で、先生方が外で定食で食べたら1,000円は確実に超えるよね、といった反応もいただきましたので、また今後とも小田原の魚を子供たちに美味しく食べてもらえるように、市の方のご協力もいただきたいなと思います。市の方としては、調整とか大変なこともご苦労いっぱいあると思うんですけども、子供たちにぜひ小田原の魚を食べていただきたいと思っております。以上です。

【石井委員】

片浦小学校栄養士の石井です。今回給食費のあり方についてお話しさせていただいたうえで、引き続き栄養士としても子供たちの健康増進はもちろん、地域地場産物の特色を生かした献立だったり、食文化の理解等を踏まえたうえで、安全性の確保といった取り組みは継続して行っていきたいと思っております。今回、三品献立、前年度に引き続き月に2回入れた金額でやっていたい、今年度小学校で子供たちに毎日給食提供して、やはり三品献立の日というのは見た目にも満足感があるというか、とても見た目も良くなって、直接子供たちの顔を見に行く中で、その日はとても子供たちに評判がいいというか、直接そういうものをこうやって聞けるというのもすごく良いことだなと思います。本当に給食が生きた教材になって、そのまま栄養価を学んだり、こういう食事の見本となるように、引き続き金額の中で献立を提供して行けたらなと思っておりますので、保護者の方も給食のほうをご理解ご協力の方よろしくお願ひいたします。以上です。

【釣持委員長】

皆さん、どうもありがとうございました。私自身も小学校の方の代表ですけれども、保護者の方のご理解であったりとか、給食の栄養士さんに本当に工夫をしていただいているなと感じております。特に11月になってからは季節のもの、大根であったり、里芋であったり、さつま芋であったり、季節の食材をふんだんに使っていただいているとか、先程もかますの話が出ましたけれども、本校でもかますのフライが出たときに、やはりこう今までと違う味が出てきたので、子供たちも大喜びで食べていました。11月15日はかまぼこの日ということで、かまぼこ丼が提供されたりとか、本校では花いっぱい運動というものをやっていますけど、その日には花いっぱいのすまし汁みたいな形でお花のお麩が入っていて、学校行事に合わせて工夫していただいている様子もたくさん見られています。今物価が高騰してお金がない中で、そういうところで工夫しながらやっていただけているのが、本当にありがたいなと思っています。そして、1年生の入学のときには本当に苦手なものだらけで、だしの味が特に苦手で汁が飲めなかったり、食が細かった子たちが半年以上経って、学校給食に慣れてきて今はだいぶ食べられるようになって、こんなに食べられなかつた子たちが学校の味に慣れてきたんだなど、そこも日々の工夫なのではないかなというふうに思って、学校給食の役割というというのは本当に大きいなと感じております。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

いろいろとご意見いただきまして、皆様本当にありがとうございます。それでは、本日の議題はすべて終わりましたので進行を事務局の方に戻したいと思います。議事進行に御協力いただきまして、どうもありがとうございました。

3 閉会

【教育部副部長】

ありがとうございました。それぞれのお立場から貴重なご意見、それから子供たちの様子など、いろいろ聞かせていただきありがとうございました。以上をもちまして、日程は全て終了いたし

ましたので、これを持ちまして令和7年度第2回小田原市学校給食費検討委員会を閉会させていただきます。委員会の運営に多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。